



新原名誉顧問(写真中央)、田所店長(写真左から4人目)とスタッフの皆さん。今日も出来たてアツアツ、おいしい「味噌らーめん」を作ります。

今回は、薩摩川内味噌醤油株式会社を「深ボリ!」名譽顧問の新原建次さんとマルニ味噌らーめん店長の田所啓彦さんにお話を伺いました。

5年(の創業以来115年、日々受け継がれた伝統の製

深ボリ! 企業のチカラ

第28回 薩摩川内味噌醤油株式会社

事業の概要

「初夏みそまつり」などのイベントや、工場の見学受け入れなども行いながら、地域に密着した事業を心掛けています。また、昨年の3月には、みそ屋がつくる「味噌らーめん専門店」をオープンしました。

新規事業の開拓

「初夏みそまつり」などのイベントや、工場の見学受け入れなども行いながら、地域に密着した事業を心掛けています。また、昨年の3月には、みそ屋がつくる「味噌らーめん専門店」をオープンしました。



マルニ味噌ピリ辛ネギらーめん

法と職人の技術を守り続けている麦みそ作りを中心とした、みそ・しょうゆ蔵です。厳選した甘味の強い大豆と地元市比野の温泉地下水を使用した「美しい麦みそ」や県内で愛され続ける甘露しょうゆなど、さまざまな商品を製造しています。

らーめん店を開ききっかけとなったのは、工場の直売所での「醸造所の隣に味噌らーめんのお店があったら面白いのではないかと」そんな全国的にも珍しい、蔵出しみそを使用したこだわりの「味噌らーめん」は、多くのお客さまにご好評をいただいております。



直売所ではみそ、しょうゆをお買い求めいただけます

地域と一体となり活性化

今後、お客さま一人一人の声を大切に、こつこつと改善を積み重ねていくことで、ニーズに応え、人の流れを呼び込み、地域と一体となって地元の活性化に貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。

薩摩川内味噌醤油株式会社

樋脇町市比野141-1

☎(38)2333



起業者応援! 今月の起業人

このコーナーでは新規開業者情報をお届けしています。

Saori+Ayurveda

- 所在地/小大小路町73-23 (24)8215
- 営業時間/10:00~17:00
- 定休日/不定休
- 駐車場/有(2台)



みやじ 宮路 さおりさん

昨年1月にオープン。店舗名の「アーユルヴェーダ」とは、5000年以上前から存在するスリランカ・インド発祥の伝統医療のこと。スリランカから正規輸入した薬草オイルで理学療法士の国家資格を持つセラピストがオイルトリートメントによる心と身体の癒やしと安らぎを提供します。健康維持や体質改善など、興味のある方のご来店をお待ちしています。

←こちらのクーポンもご利用ください。



ようこそ「36 ぷらす3」

7月の豪雨被害により不通となっていた肥薩おれんじ鉄道の全線開通に伴い、JR九州の観光列車「36 ぷらす3」の運行が11月19日(木)から始まり、当日上川内駅で、川内商工高校の生徒12人らが、お出迎えとお見送りをしました。生徒たちは、マスク越しではありますが、笑顔とともに、お茶などを振る舞い、乗客などをもてなしました。



樋脇の魅力をライブで配信

11月20日(金)、樋脇町で商工会青年部により、音楽ライブや踊りなどを撮影し、YouTubeで生配信する「樋脇LIVEプロジェクト」が初めて実施されました。当日行われている演奏などの背景に地域の風景を合成して配信。全国にいる出身者など、遠方の方にも地域の行事や風景を届ける、初めての試みとなりました。



「みなとオアシス薩摩川内」誕生

11月24日(火)、川内・里・長浜港の各ターミナル、川内とれたて市場、薩摩海食堂が、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われている施設として、国土交通省港湾局から全国146カ所目となる「みなとオアシス」に登録されました。今後、ますます地域住民の交流促進や地域の魅力の向上が期待されます。



けん玉で甲子園へ

第32回全日本少年少女けん玉道選手権大会文部科学大臣杯に、南部九州地区代表として隈之城小学校4年の松若希さんが、出場することが決定しました。けん玉甲子園と呼ばれるこの大会に松若さんは「幼稚園から始めたけん玉で、少しでも勝ち進みたい」と意気込みを述べました。



地域に受け継がれるツール

鹿島地域では、初盆を迎えると、仏前にツール(市指定有形民俗文化財)と呼ばれる盆灯籠をお供えます。鹿島小学校では、3・4年生の児童が、9月から始めた学習の中で、地域の作り手、南重一郎さんを講師に切り絵やのり付けなどの細かい作業を何回も重ね、10月5日、ついに一体のツールを完成させました。



夢を乗せて、大空に羽ばたけ

12月1日(火)、可愛小学校で、創立70周年の記念事業イベントとなるバルーンリリースが行われました。参加した全校生徒675人の子どもたちは、心の中で自分の夢を叫びながら、一斉に風船を離し、大空に舞い上がった風船の大群に大歓声を上げました。



※風船は、環境に配慮して、上空8,000mまで上がると割れて落ちてきて、土に還る素材のものを使用しています。

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。